

科目名	思想の歴史	担当教員	信太 雅洋 小林 巧 野陳 佳織 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------	------	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	教養科目	選択	1年次	後期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR13AB	①					

科目概要	本講義では本学の教育特徴を活かして、「リハビリテーション医療の思想および実践の歴史」から取り出され教えられる数々の人間学的特徴にふれ、支援の糸を手繰り寄せる。医療者と患者という二分的で垂直的な立場から、医療の場での役割の違いをおさえながら、人間として水平的な立場からの接近が求められる時代となった。医療思想の歴史を背景として、臨床実習体験から学んだことを講義資料として、現代に生かす医療思想についてふれる。
学習目標	① 臨床見学実習を体験資料として、リハビリテーション臨床に必要とされる課題を取りあげる。 ② 自ら取り上げたリハビリテーション臨床に必要な課題に対する医療的対応について学習する。 ③ 自ら学んだ医療的対応について、他者に的確に伝わるかどうかをみるためにこれを文章化し、互いに資料の点検作業を行う。以上については常時リハビリテーション思想を背景におき取り組む。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論 各論1	オリエンテーション リハビリテーション思想と臨床実習体験の振り返り その1	科目の概要と流れがわかる。 リハビリテーション臨床に必要とされる要素を挙げ、整理することができる。	
2	各論2	リハビリテーション思想と臨床実習の振り返り その2	挙げた要素を整理することができる。 整理した要素を文章にすることができる。	
3	各論3	リハビリテーション思想と臨床実習の振り返り その3	整理した要素を他者に伝える方法を学ぶことができる。	
4	各論4	リハビリテーション思想と臨床実習の振り返り その4	課題を挙げることができる。	
5	各論5	リハビリテーション思想と臨床実習の振り返り その5	課題に対する対応方法を学ぶことができる1。	
6	各論6	リハビリテーション思想と臨床実習の振り返り その6	課題に対する対応方法を学ぶことができる2。	
7	各論7	リハビリテーション思想と臨床実習の振り返り その7	学んだ対応方法を文章にすることができる。	
8	各論8 まとめ	リハビリテーション思想と臨床実習の振り返り その8	学んだ対応方法を他者に伝える方法を学ぶことができる。	
評価方法		講義時に提示する提出物（80%）・授業での発表（20%）を評価する。		
課題に対するフィードバック		授業をとおしてフィードバックする。		
教科図書		山口美和・著『PT・OTのための これで安心コミュニケーション実践ガイド 第2版』医学書院、2020年		
参考図書		吉松和哉・著『医者と患者』岩波現代文庫、2001年 深堀幸次・著『患者対応マナーBOOK』医学通信社、2005年		

学習の準備	1 (予習) 次回テキストの通読と用語の確認をする。(90分) 2 (復習) 講義毎に提示するので、提示に従い復習をすること(90分)
オフィスアワー	月曜日 13:00~14:30、その他在室時はいつでも可能
担当教員欄に※印を 附した教員の 実務経 験	